



地域とつながるFFG連携プロジェクト

FFGの幅広いネットワークを活かした地方創生の具体的な事例をご紹介します。

飯塚市「健幸都市」に向けた取り組み

ソーシャル・インパクト・ボンドを活用したヘルスケアプロジェクト

私たちFFGは、「地域と共に未来を創っていくこと」をスローガンに、観光・農業・雇用・産業・健康・教育など様々な分野での地方創生に取り組んでいます。今回は、大学や自治体、民間事業者と連携した「産・学・官・金」連携の取り組みをご紹介します。

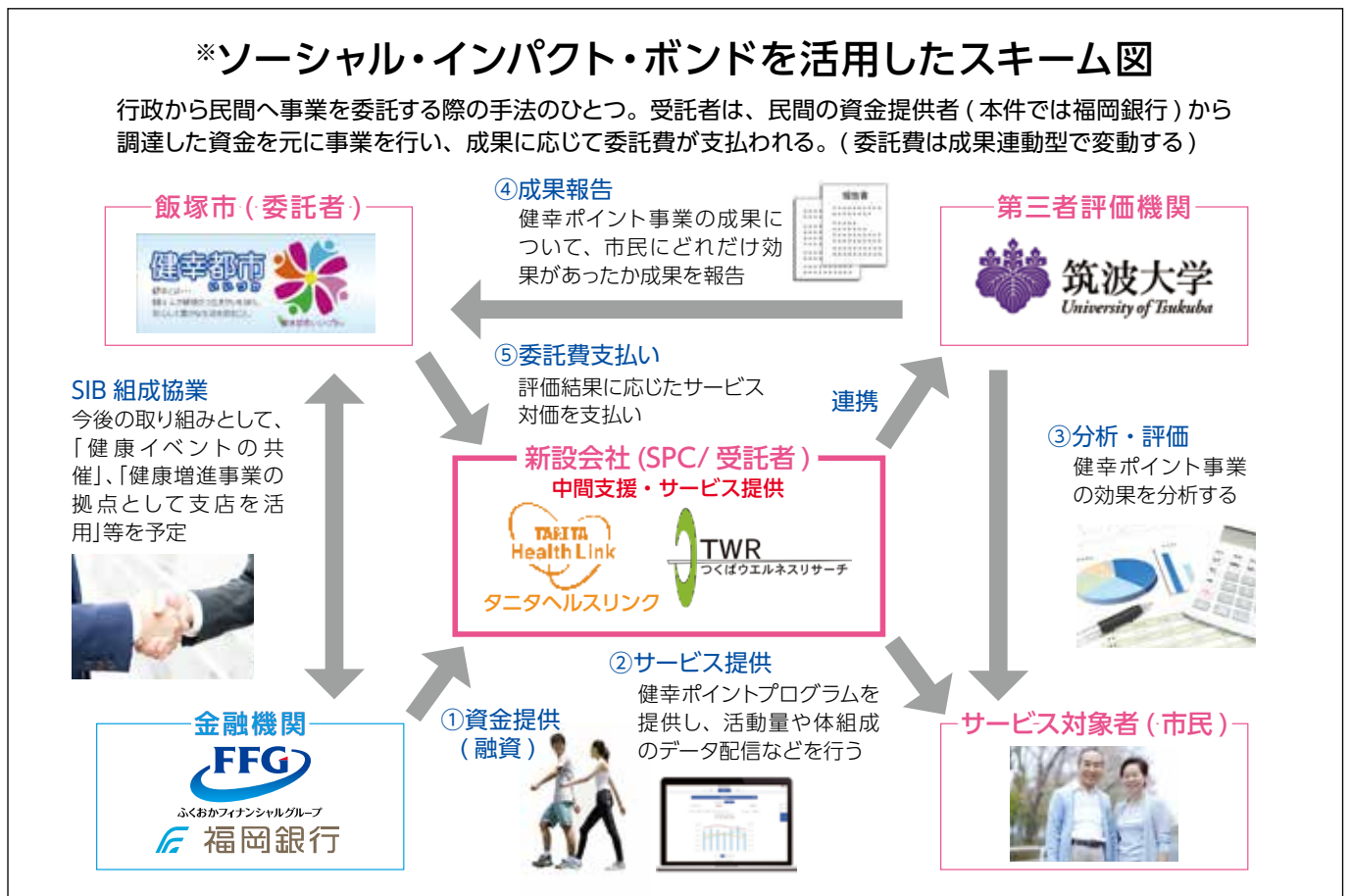
飯塚市は平成26年に「いづくか健幸都市基本計画」を策定。健康づくり事業の実施や、ウォーキングコースの整備などを行い、すべての人が健康でいきいきと笑顔で暮らせる「健幸都市」を目指しています。

さらに、令和2年からは福岡銀行も協業して、*ソーシャル・インパクト・ボンド(SIB)の仕組みを活用したヘルスケア事業に取り組んでいます。

具体的には、①健幸ポイントプログラム実施(歩数や運動教室への参加など)に対して健幸ポイントを付与。ポイントは景品と交換が可能) ②健幸アンバサダー養成(健康に関

*ソーシャル・インパクト・ボンドを活用したスキーム図

行政から民間へ事業を委託する際の手法のひとつ。受託者は、民間の資金提供者(本件では福岡銀行)から調達した資金を元に事業を行い、成果に応じて委託費が支払われる。(委託費は成果連動型で変動する)



ストーリーでつながる、銀行系地方創生メディア



する正しい情報を身近な人に広めるスペシャリスト)③運動教室の開催など「SDGs(持続可能な開発目標)」にも繋がる取り組みとなっております。

本件は、タニタヘルスリンク・つくばウエルネスリサーチ・筑波大学がコアメンバーを構成する「産・学・官・金」連携プロジェクトであり、健康寿命の延伸及び医療費・介護給付費の抑制などの社会的課題にSIB(成果連動型のスキーム)を活用する先進的な取り組みです。健康ポイント事業と連携したSIBは福岡県下で初の試みであり、これから多くの自治体に広く展開が期待されます。

今後、「健康」に対する地域住民の意識向上および健康寿命を延伸することで地域社会へ貢献できる仕組みづくりを支援するため、事業資金での関わりは基より、健康イベントの開催など、飯塚市や福岡銀行飯塚支店と連携して本プロジェクトの推進に取り組んでまいります。

取り組み内容



①「からだカルテ」による健幸ポイントプログラム実施

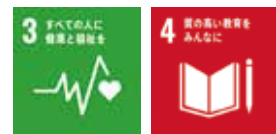


②住民のヘルスリテラシー向上のための健幸アンバサダー養成



③「*T-Well」を活用した運動教室の開催

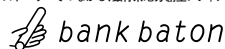
※個別対応型健康づくりパッケージ



左から、福岡銀行地域共創部 今泉副部長、鶴原調査役、藤永副調査役
【お問い合わせ先】 TEL : (092) 723-2254



ストーリーでつながる、銀行系地方創生メディア



【SDGsとは】

2015年9月の国連サミットにおいて全会一致で採択された国際目標です。2030年までに「誰ひとり取り残さない」社会を実現することを目指しており、下記の17の目標(ゴール)と、更に細分化された169のターゲットから構成されています。

